

埼玉県  
スポーツ推進

西



研修会支部支部  
チャレンジ・ザ・ゲーム  
体験(実技)

三芳町のマスコット・キャラクター  
みらいくん

2018.9.16  
in miyoshi

主催 埼玉県スポーツ推進委員協議会西部支部

主管 入間地区スポーツ推進委員連絡協議会  
(三芳町スポーツ推進委員連絡協議会)



## 西部支部をみんなで盛り上げていきましょう !!

埼玉県スポーツ推進委員協議会 西部支部長  
所沢市スポーツ推進委員会  
会長 宮寺敏雄

日頃は、埼玉県スポーツ推進委員協議会事業・運営や県体育協会支援事業について、西部支部スポーツ推進委員の皆様や支部内 22 市町村事務局の方にはご理解、ご協力を賜り、紙面を拝借し心より厚く御礼申し上げます。

3 年前より、以前からの組織である県内 5 支部体制を再構築し、県協議会運営については、各支部単位を基本とし、それを県で纏め運営していく方針が打ち出され、今日に至っております。

西部支部は、入間地区(西内会長)・比企地区(阿部会長)のご尽力により、県内 5 支部では一番の纏りと自負しております。昨年行われた滑川町でのマレットゴルフに続いて、本年は三芳町にて「チャレンジ・ザ・ゲーム」を皆様にお楽しみ頂くこととなりました。いずれは西部支部内 688 名(県内委員数 2185 名)が、一同に介せる事業が開催できればと考えております。

最後に、来年 6 月に開催されます「関東スポーツ推進委員研究大会 埼玉大会」も実行委員会が立ち上がり、着々と準備を進めさせて頂いております。

今後、西部支部スポーツ推進委員及び市町村事務局の皆様にも多面に亘り、ご協力をお願いすることとなりますが、併せて宜しくお願い申し上げます。



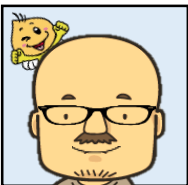
## 来年は比企地区でお会いしましょう!?

比企地区スポーツ推進委員連絡協議会  
川島町スポーツ推進委員協議会  
会長 阿部洋行

西部支部スポーツ推進委員の皆様、日頃から地元でのご活躍大変ご苦勞様です。

西部支部研修会は、今年で三回目を迎え、今年が入間地区(三芳町)の企画「チャレンジ・ザ・ゲーム」ではお世話になります。楽しく交流を深めましょう。

次回は、比企地区での企画となりますが、雨が降らないような日にします(降るかもしれません)。今後、皆様の益々のご活躍とご健康をご祈念いたします。



## ようこそ!! 三芳町へ♪

入間地区スポーツ推進委員連絡協議会  
三芳町スポーツ推進委員連絡協議会  
会長 西内利夫

入間地区スポーツ推進委員連絡協議会は、誰もが楽しめるスポーツを企画しています。主にスポーツ交流大会・女性委員会・研究大会の 3 つの事業を中心に活動しています。

三芳町スポーツ推進委員連絡協議会は体育指導委員の時代を経て、昨年(平成 29 年度)で 20 年を迎えることができました。町のイベントの運営協力から、ニュースポーツ(ラケットテニス・キンボール・インディアカ等)の普及のために様々な事業を企画しています。

今後必ずすべての協議会が、地域の人たちの健康・体力づくりに役立てるよう、スポーツの普及・振興を図れば幸いです。

結びに、今後の推進委員の皆様のご健勝とご活躍を祈念し、挨拶いたします。

# キャッチ・ザ・スティック

横一列に右端から 8 人が、ひとり 2 本のスティックを持ち、“トントン”のリズムに合わせてスティックを突き、“パツ”と離して、素早く右へ横移動します。何回続けてキャッチできるかを楽しみます。  
幅広い年齢層で楽しむことができることから、長く愛好されています。

## 1. 人数

1 チーム 10 人

## 2. 隊形

メンバーの内 8 人がひとり 2 本のスティックを両手で持ち、横一列に並びます。スティックを持っていない 2 人は列の左端に並びます。

## 3. 用具

チャレンジ・ザ・ゲーム推進本部公認スティック 16 本

## 4. カウント

キャッチに成功して移動するたびにカウントします。連続して成功した回数が記録となります。

## 5. 競技ルール

- チームのリーダーが「せ～の」の掛け声を掛け、「トン、トン」とスティックを 2 回床に打ちつけます（「せ～の」などの開始の掛け声は最初の 1 回だけ）。
- 打ちつけた後、2 本のスティックを 8 人が同時にパツと離し、素早く右へ移動し、右隣の人スティック 2 本をキャッチします。この時点からカウントを開始します。
- 右端の人は速やかに左端へ移動します。

スコア



- カウントは全員が右へ移動するたびに行います。
- ひとりでもスティックを床に倒してしまうか、他のメンバーがスティックに触れ、支えた場合はその時点で終了となります。
- チャレンジは3回までとし、その中の最高記録をチームの記録とします。
- チャレンジごとのメンバーの並び替えは認められます。
- チャレンジ間の作戦タイム、休憩タイムは30秒以内とします。

## ○アウト

- 「トン、トン」の時、ひとりでも床からスティックを浮かしていない人がいた時。
- 次の人がキャッチしやすいようにスティックを押さえたまま手渡した時。
- 「トン、トン、パッ」のテンポが遅すぎた時（最低1分間に96拍以上<10秒間に4回以上>の速さ）。

## 6. 審判

### ○主審

- 開始時に「よ〜い、スタート」のコールを行う。
- アウトの判定を行う。失敗や失格行為などがあった時、笛などでアウトのコールを行う。
- 1回目のキャッチが成功した時点からカウントを開始する。
- 競技実施中は、大きな声でカウントをし続ける。

### ○副審

- テンポの遅い場合の失格の判定を行い、主審に通告する。
- アウトの判定を補佐する。
- 休憩タイムの時間を管理する。



# ネット・パス・ラリー

ネットにボールを載せて持ち、ペア 2 組で向かい合いネットの上ボールを交換して楽しめます。

目を合わせ、呼吸をそろえ、声を掛け合うのが成功のポイント。

小グループ内のふれ合いや交流づくりを演出するのにも適しています。

## 1. 人数

1 チーム 4 人 (2 人×2 組)

## 2. 隊形

各ペアはニュートラルゾーンを示す 3.6m の間隔で引かれたラインを挟んで立ち、両ペアがネットにボールを載せる。

## 3. 用具

チャレンジ・ザ・ゲーム推進本部公認ネット。

または 50cm×100cm の大きさのネットで網目の大きさが 45mm 以下。ネットの素材は、ポリエチレンまたはナイロン製のもの(2 枚)。ドッジボール 3 号球 2 個。

## 4. カウント

パス&キャッチが成功するたびにカウントします。記録は成功した回数を加算します。

## 5. 競技ルール

### ○アウト

- ・審判の「よ〜い、スタート」の合図とともに、ニュートラルゾーンに踏み入らないように、ボールをお互いに交換します。
- ・両ペアがボールを落とさずにノーバウンドでキャッチできた時点で

スコア



1回と数えます。

- 競技時間は2分間とします。ただし、競技時間が過ぎても、キャッチミスやアウトにならずに続けている場合は、失敗するまで競技を続行できます。この場合、失敗した時点で競技終了となります。
- 競技終了時までトータルで何回できたかを記録とします。その合計回数がチームの記録となります。
- 競技時間内でのペアの組み合わせの変更、作戦タイム、休憩は認められます。
- ボールを手や腕でホールドした場合。
- パスのテンポが遅すぎた時（最低30秒間に5回以上の記録となる速さでパスを交換しなければなりません）。
- ラインを踏みながら、またはニュートラルゾーン内でボールをキャッチした場合。
- 競技者以外の人（審判員含む）が故意にボールに触った場合。

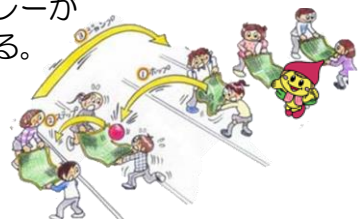
## 6. 審判

### ○主審

- 開始時に「よ〜い、スタート」のコールを行う。
- 1回目のキャッチが成功した時点からカウントを開始する。
- 競技実施中は大きな声でカウントし続ける。
- アウトの判定を行う。失敗や失格行為などがあった時、笛などでアウトのコールを行い、競技を一旦止める。

### ○副審

- テンポが遅い場合の失敗の判定を行い、主審に通告する。
- 途中で30秒経過ごとに時間をコールする。最後の15秒はカウントダウンを行う。競技時間が終了する時、プレーが続いている場合は「2分経過」をコールする。
- アウトの判定を補佐する。



# リングキャッチクロス 10

1 チーム 10 人 5 組が向かい合って横に並び、手に持ったリングを順番に斜めの相手にパスしていきます。  
ひとりだけ色の違うリングを持って始め、そのリングが元の人まで帰ってくるタイムを競います。

## 1. 人数

1 チーム 10 人（補欠は 2 名まで可）

## 2. 隊形

10 人全員がリングを 1 個ずつ持ち、5 人が横一列に並び、6m のニュートラルゾーンを挟んで向かい合います。端にいる人の中からひとりだけは別の色のリングを持ちます。

## 3. 用具

チャレンジ・ザ・ゲーム推進本部公認ゴム製リング  
（直径 16.5cm、太さ 3cm の円形）／10 個（9 個黄色+1 個赤色、  
または、9 個赤色+1 個黄色）

## 4. カウント

別色のリングが最初の人に戻ってくるまでのタイムを図ります。

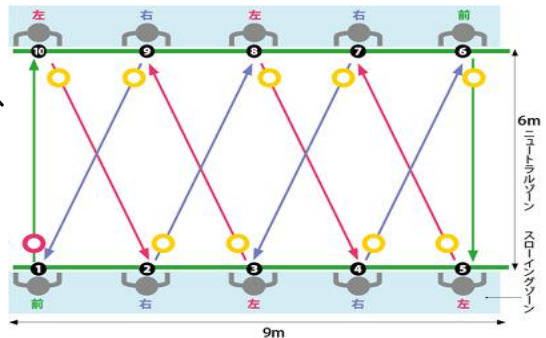
## 5. 競技ルール

- 10 人中 9 人は同じ色のリングを持ち、ひとは別の色のリングを持って配置につきます。
- ニュートラルゾーンを挟んで 5 人ずつに別れ、向かい合って立ちます。別色のリングを持った人（基準となる人）は列の端に位置します。

スコア



- スローイングはアンダーハンドスローとし、別色のリングを持った人が「1. 2. 3」のリズム（例えば「セー、ノ、スロー」など）の掛け声をかけて、向かいの列へ一斉にスローイングします。投げる相手は並び順によって異なり、左端の人から順に、向かいの列の正面に位置する人、右向かい斜めに位置する人、左向かい斜めに位置する人、右向かい斜めに位置する人、左向かい斜めに位置する人をめがけてスローイングします。
- スローイングと同時に、ニュートラルゾーンを挟んだ向かいの列からスローイングされたリングをキャッチします。全員がニュートラルゾーンの外側にいることを確認後、別色のリングをキャッチした人が掛け声をリードし、一斉にスローイングとキャッチを続けます。
- キャッチに失敗した場合は素早くリングを拾い上げ、ニュートラルゾーンの外側に戻ります。ニュートラルゾーン内でキャッチした場合も、素早くニュートラルゾーンの外側に戻ります。
- 別色のリングが1周し、最初の人（基準となる人）に戻ってくるまでのタイムを競います。ただし、別色のリングが最初の人に戻ってくる際、ニュートラルゾーン内でキャッチした場合は、ニュートラルゾーンの外側に出た時点のタイムとします。
- チャレンジは3回までとし、1番良い記録をチーム記録とします。
- 3回とも失敗した場合は記録無しとなります。
- 試技ごとのメンバーの並び替え、交替は認められます。



## ○アウト

- スローイングは必ずニュートラルゾーンの外側から行うこととし、スローイング時にラインを踏んだり、ラインの内側に踏み入れた状態でスローイングした場合。
- 競技者以外の人々が故意にリングに触れた場合。



## 6. 審判

### ○主 審

- 開始時に「よ〜い、スタート」のコールを行う。
- アウトの判定を行う。失敗や失格行為などがあった時、笛などでアウトのコールを行い、競技を一旦止める。
- 別色のリングが1週し、基準となる人がニュートラルゾーンの外側でキャッチした時（または、キャッチに失敗した場合はリングを拾い上げニュートラルゾーンの外側に戻った時）に「ゴール」とコールし、副審にタイムを確認する。
- 確認後「ただいまのタイム〇〇秒〇〇」と読み上げる（100分の1秒まで）

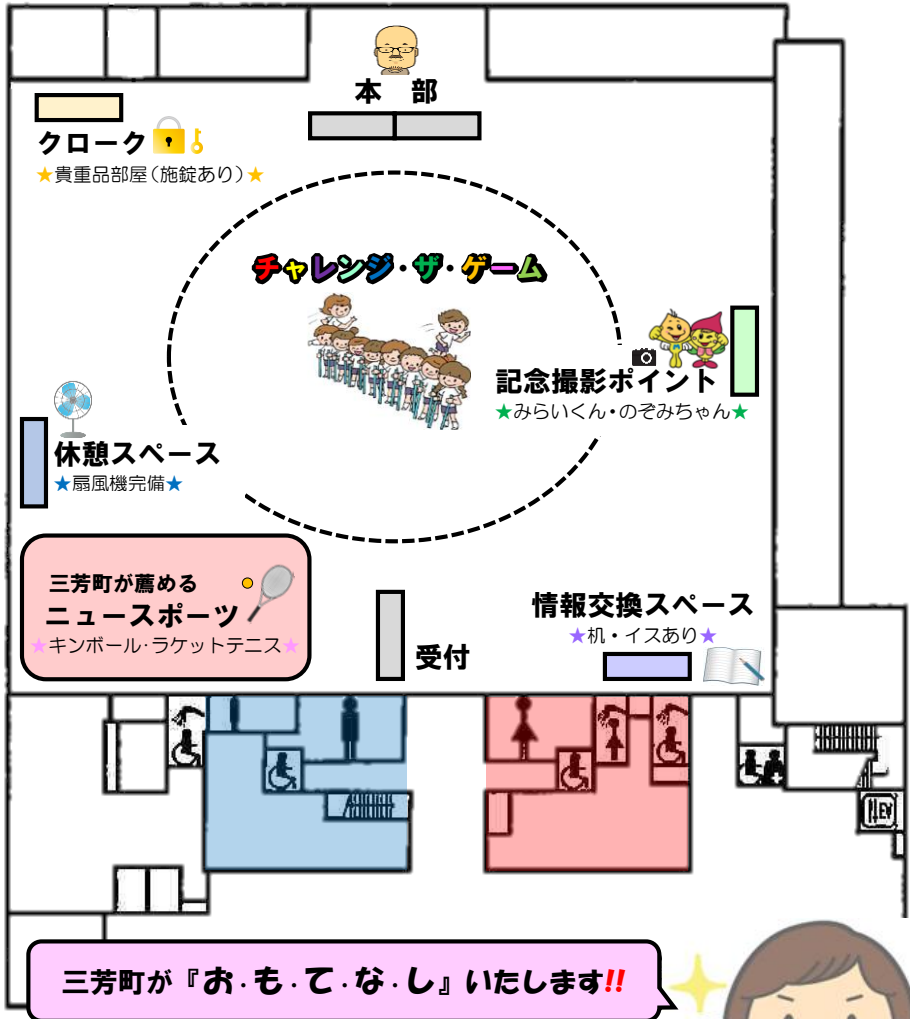
### ○副 審

- スタートと同時にストップウォッチを押し、主審の「ゴール」のコールまでの計時を計る。
- ゴール後、主審にタイムを報告する。
- アウトの判定を補佐する。



# 会場案内

ゴミ(ペットボトル以外)は、各チーム責任をもって処理してください。  
その他、必要事項については、本部より放送にて連絡します。



会場責任者 室山陽子  
(三芳町スポーツ推進委員連絡協議会 副会長)



# 情報交換

## 1. 川越市

---

---

## 2. 所沢市

---

---

## 3. 飯能市

---

---

## 4. 狭山市

---

---

## 5. 入間市

---

---

## 6. 富士見市

---

---

## 7. ふじみ野市

---

---

## 8. 坂戸市

## 9. 鶴ヶ島市

## 10. 日高市

## 11. 毛呂山町

## 12. 越生町

## 13. 三芳町 三芳町スポーツ推進委員連絡協議会 副会長 矢島 敦 に何でも聞いてください ♪



## 14. 東松山市

## 15. 小川町

16. 嵐山町

---

---

17. 川島町

---

---

18. 吉見町

---

---

19. 鳩山町

---

---

20. 滑川町

---

---

21. ときがわ町

---

---

22. 東秩父村

---

---

23. その他

---

---

# 埼玉県ス**ポ**推 22 市町村が、 ここ三芳町に集結 !!

- さいたま市支部
- 南部支部
- 東部支部
- 北部支部
- 西部支部



三芳町のマスコット・キャラクター  
のぞみちゃん



作成：三芳町スポーツ推進委員連絡協議会  
参考：公益財団法人日本レクリエーション協会HP  
埼玉県スポーツ推進委員協議会HP